株式会社ホテル佐勘（宿泊業）

伝承千年の宿 佐勘



ホテル佐勘

〇本社所在地：宮城県仙台市太白区秋保町湯元薬師28
〇事業概要：宮城県の秋保温泉・松島温泉をはじめ4つの宿泊施設を経営
〇常時使用する従業員：265名
（2026年7月時点）
〇現在の売上高：29.3億円
（2026年7月期）
〇法人番号：9370001002198
〇Web：https://www.hotel-sakan.com/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
佐藤 勘三郎

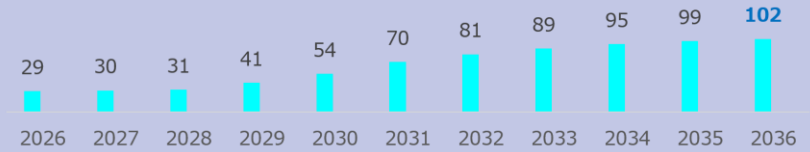
心温まるおもてなしを、宮城から日本全国・世界へ

当社が平安期の創業以来、常に目指してきた「心の原点に触れるおもてなしの心」は、千年もの長い歴史の中で培ってきた、何ものにも変えがたい貴重な財産です。伝統のおもてなしと現代的なデータ活用を融合させた宿泊経営ノウハウを強みに、これまで「ダイバーシティ企業100選」や「地域未来牽引企業」への認定、G7関係閣僚会合を温泉旅館として初めて単独開催するなど、国内外からの信頼を得てきました。
宿泊施設の大型改装による高付加価値化を皮切りに、食品製造・外販や旅行業へと事業領域を広げ、 秋保の地域活性化モデルを日本全国・世界へと広げていくことで『日本を代表する総合観光企業』への進化を目指します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2036年の売上高100億円達成に向け、年率13%程度の成長を目指す。



課題

- 老朽化および和室中心の客室構造により、高単価層・インバウンドの需要を十分に取り込めていない
- 行楽シーズンや週末はほぼ満室となる一方、閑散期・平日の稼働率が低く、インバウンド比率も約5%にとどまる
- 既存の宿泊事業だけでは成長余地が限られ、宿泊以外の収益の柱と広域展開が必要

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 花月館・飛天館の客室改装と、地下料亭を改修した貸切露天風呂・サウナの新設による高付加価値化
- インバウンド向け販促の強化による稼働率向上
- 地産地消の食材を活かした食品製造・外販事業の立ち上げ
- 旅行業を核とした周遊ツアー・二次交通の拡充による、秋保・宮城への誘客拡大
- 秋保で培った地域活性化モデルを自治体施設の指定管理受託やM&A・事業承継を通じて東北・全国へ横展開
- 将来的な海外展開とインバウンド需要のさらなる喚起

実施体制

- 社長直轄のプロジェクトチームにより、重点施策の進捗管理と部門横断の連携を担保
- 月次の経営会議で平均宿泊単価・稼働率などのKPI管理を徹底
- AI・データ活用による客室販売管理と業務の効率化で、労働生産性を向上
- 継続的な賃上げによる魅力的な職場創りと人材確保
- 設備投資と人材投資のバランスを図りつつ成長資金を確保

※本宣言は企業自身がその責任において売上高１００億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです